

10月29日(日)・大会2日目 12:40-13:40(会場:F401)(60分)

●ランチョン・ミーティングⅡ

テーマ:『経営学の危機』を超えて<2>
「AIが切り拓く経営学研究の可能性」

◎李 振 氏(関西大学 商学部 准教授)
矢田勝俊(関西大学 商学部 教授)

◎セッション・リーダー

[概要]

本セッションの目的は、既存研究のレビュー方法の事例をもとに、最新のAI技術に裏付けられたサービスが組織論の研究方法にどのような影響を及ぼすのかを理解することである。生成AIに代表される人工知能に関連する技術は、多様な研究や教育に大きな影響を与えている。経営学や組織論研究も例外ではなく、広範囲に論文がデジタル化されている現状を踏まえると、今後、先端のAI技術に裏付けられた様々なシステムやサービスに影響を受けると考えられる。

本セッションでは、計量書誌学(Bibliometrics)のアプローチを用いた研究事例を取り上げ、経営学における新しいレビュー方法を紹介する。定量的に研究の動向を整理する計量書誌学の中で、AIによる論文検索や類似性分析、キーワードやトピックの抽出がどのように利用されているのか、それらのメリットとデメリットを理解し、より質の高い論文を書くための可能性を探る。

具体的には、論文の分類、理論や結論の把握、研究類似性や相違点の視覚的把握、話題なトピックやトピックのトレンド推移、論文の質的評価などを含みますが、計量書誌学や機械学習、そして話題のChatGPTを活用した論文レビュー方法を、実際の研究例で紹介したいと思います。

[参加者へのメッセージ]

日々多忙を極める皆さんにとって、研究論文のレビューにかかる負担は決して少なくないでしょう。データサイエンスの技術を応用することで、論文レビューを効率的に行い、限られた時間を最大限有効に活用しましょう。ChatGPTに関心があるけれど、どう活かせばよいかわからない、といった方も是非ご参加ください。